

### 3 設問別調査結果 [算数A：主として知識]

### 小学校 [算数A]

京都府一児童（公立）

#### 集計結果

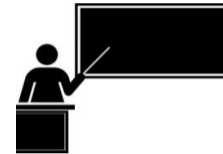
	児童数	学校数	平均正答率
京都府（公立）	10,108	208	64.0
全国（公立）	1,030,013	19,384	63.5

#### 分類・区別集計結果

分類	区分	平均正答率(%)	
		京都府	全国
学習指導要領の領域	数と計算	61.9	62.3
	量と測定	74.3	72.7
	図形	57.5	56.9
	数量関係	59.9	60.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	—	—
	数学的な考え方	—	—
	数量や図形についての技能	61.9	63.0
	数量や図形についての知識・理解	65.2	63.8
問題形式	選択式	62.8	61.8
	短答式	67.2	67.8
	記述式	—	—

◇ 「量と測定」及び「図形」の領域で、正答率が全国平均を上回っている。無解答率は、全国平均を上回ったのは1問だけである。

◆ 「数と計算」については、正答率が6割程度であり、設問別に見ても全国の正答率を下回った問題が昨年度より増加している。



#### 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	領域	正答率		無解答率	
			府(※1)	全国	府(※2)	全国
1 (1)	針金0.2mの重さと針金0.1mの重さを書く	数と計算・数量関係	59.6	62.9	1.6	1.7
1 (2)	針金0.4mと、0.4mの重さの60gと、1mの重さが、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	数と計算	58.9	66.7	2.4	2.4
1 (3)	針金1mの重さを求める式を選ぶ	数と計算・数量関係	68.9	65.3	2.5	2.2
2	答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ	数と計算	46.0	39.9	0.7	1.0
3	3桁の整数どうしの大きさを比べ、十の位に入る適切な数字を書く	数と計算	75.9	76.4	1.0	1.3
4 (1)	面積がそろっている㊳と㊴の二つのシートの混み具合について、正しいものを選ぶ	量と測定	89.4	87.8	0.5	0.6
4 (2)	㊵と㊶の二つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	量と測定	52.2	50.1	0.8	1.0
5 (1)	角㊷の角の大きさが、何度であるかを選ぶ	量と測定	95.8	94.4	0.9	1.1
5 (2)	分度器の目盛りを読み、 $180^\circ$ よりも大きい角の大きさを求める	量と測定	60.0	58.5	1.1	1.5
6	空間の中にあるものの位置を正しく書く	図形	73.4	73.5	2.4	3.3
7 (1)	円周率を求める式として正しいものを選ぶ	図形	45.4	41.6	2.5	3.2
7 (2)	円の直径の長さが2倍になったとき、円周の長さが何倍になるかを選ぶ	図形・数量関係	53.8	55.6	3.0	3.6
8	200人のうち80人が小学生のとき、小学生の人数は全体の人数の何%かを選ぶ	数量関係	52.7	52.9	3.8	4.6
9	示された事柄が両方当てはまるグラフを選ぶ	数量関係	64.5	63.6	5.5	7.2

※1 府(京都市を除く)の正答率が全国の正答率より低い問題についてはセルの色を■で、表示しています。

※2 府(京都市を除く)の無解答率が全国の無解答率より高い問題についてはセルの色を■で、表示しています。

### 3 設問別調査結果 [算数B：主として活用] 小学校 [算数B]

京都府—児童（公立）

#### 集計結果

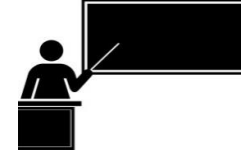
	児童数	学校数	平均正答率
京都府（公立）	10,106	208	52.6
全国（公立）	1,029,847	19,380	51.5

#### 分類・区分別集計結果

分類	区分	平均正答率(%)	
		京都府	全国
学習指導要領の領域	数と計算	60.5	58.4
	量と測定	53.7	52.4
	図形	59.1	59.9
	数量関係	46.3	45.1
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	—	—
	数学的な考え方	50.8	49.2
	数量や図形についての技能	—	—
	数量や図形についての知識・理解	69.0	71.7
問題形式	選択式	53.4	54.0
	短答式	68.8	66.6
	記述式	45.6	43.9

◇「数と計算」「量と測定」及び「数量関係」の領域で全国平均を上回っている。無解答率は、全ての設問において全国平均を下回っている。

◆ 5(1)「折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述する」の設問において、平均正答率は45.2%であり、日常生活の事象を数量を関連付け、根拠を明確にして記述することに課題がある。



#### 設問別集計結果

設問番号	設問の概要	領域	正答率		無解答率	
			府(※)	全国	府	全国
1(1)	合同な正三角形で敷き詰められた模様の中から見いだすことができる図形として、正しいものを選ぶ	図形	69.0	71.7	0.3	0.3
1(2)	一つの点の周りに集まった角の大きさの和が $360^\circ$ になっていることを、着目した図形とその角の大きさを基に書く	量と測定・図形	49.2	48.2	11.2	14.4
2(1)	全体で使える時間の中で、「ルールの説明」に使える時間は何分かを書く	数と計算・量と測定・数量関係	71.0	70.5	1.5	1.5
2(2)	1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするための玉を投げる時間を、表に整理して求める	数と計算・量と測定・数量関係	49.2	47.9	0.9	1.6
3(1)	メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれているのかを書く	数量関係	20.9	20.7	15.1	18.0
3(2)	一つの事柄について表した棒グラフと帯グラフから読み取ることができることをまとめた文章に当てはまるものを選ぶ	数量関係	23.6	23.9	0.9	1.1
4(1)	「32, 40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す	数と計算・数量関係	66.7	62.7	4.7	6.2
4(2)	横に並んでいる七つの数について、示された表現方法を適用して書く	数と計算	63.6	59.5	8.5	11.3
5(1)	横の長さが7mの黒板に輪かざりをつけるために必要な折り紙の枚数が、100枚あれば足りるわけを書く	数と計算・量と測定	45.2	43.2	13.1	16.6
5(2)	4色を順に繰り返してつなげ、輪かざり1本を作ったときの、30個目の折り紙の輪の色を選ぶ	数と計算	67.5	66.5	6.6	8.3

※府(京都市を除く)の正答率が全国の正答率より低い問題についてはセルの色を   で、表示しています。